

刊行に寄せて



文部科学大臣

馳 浩

本年4月に発生いたしました「平成28年熊本地震」によりお亡くなりになられました方々とその御遺族に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。文部科学省としては、地元の要望を踏まえつつ、「できることは全てやる」の精神で全力で取り組んでまいります。

文部科学省では、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術における施策の新しい動きについて、広く国民の皆様を紹介するために、「文部科学白書」を刊行しています。

平成27年度文部科学白書では、特集として、「スポーツ庁の創設とスポーツ政策の推進」「教育再生の着実な実施」の二つのテーマを取り上げました。また、追部として「平成28年熊本地震への文部科学省の対応について」を記載しました。

スポーツには希望があり、フェアプレー精神があり、高い教育効果があります。特集1「スポーツ庁の創設とスポーツ政策の推進」では、平成27年10月に創設されたスポーツ庁が取り組む、国際競技力の向上、スポーツを通じた健康増進、国際交流や協力の拡充、地域・経済の活性化等の総合的な施策について紹介しています。あわせて、ラグビーワールドカップ2019や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組などについても紹介しています。

教育は未来への先行投資であり、教育再生なくして我が国の成長はありません。特集2「教育再生の着実な実施」では、教育再生を着実に実施していくために現在進められている様々な取組について取り上げています。中央教育審議会や教育再生実行会議における審議状況を記載するとともに、新しい時代を見据えた高大接続改革の動向や、教員の資質能力の向上、チーム学校や学校と地域の連携・協働に関する中央教育審議会の三つの答申と、これらの内容を推進するために策定した「次世代の学校・地域」創生プランについて紹介しています。

「一億総活躍社会」の実現に当たって、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化芸術が担う役割は極めて大きく、文部科学省においても施策の推進に全力を尽くしてまいります。

文部科学行政の推進のためには、国民の皆様の御理解と御協力が不可欠です。本白書が幅広く活用され、皆様の御理解を深めていただく一助となれば幸いです。

